

国際ロータリー第2730地区  
広報・公共イメージ部門・クラブ委員長会議 議事録

1. 日時 2015年7月18日(土) 13:30~16:00
2. 場所 都城市メインホテル4階きりしま
3. 参加人数 地区役員9名+クラブ43名=52名
4. 公共イメージ委員会(尾形 栄 委員長)
  - (1)米国や日本でのロータリー会員の減少に危機感があり CLP プログラム等を通じて取り組んでおりますが、なかなか成果が出せていない
  - (2)自分のお金を出して奉仕するロータリークラブという特色があるが、知られていない。
  - (3)ロータリーの実態を知ってもらうために、TOOL を使って発信することが必要であります。
  - (4)今回の広報・イメージ部門の召集もこれが最初で最後になると思いますので生かして頂きたい。
5. ロータリー雑誌委員会(小山田 吉治 委員長)
  - (1)「ロータリーの友」の精読を通じ、ロータリーの理解を深めていくきっかけとしていただきたい。月1回でも例会の中で定期的な記事紹介するとか推進、
  - (2)「ロータリーの友」は広報誌ではありませんので、ロータリアンのための機関誌です。これを一般市民に理解を深める。地区ブログ「ロータリーの友を読もう」の活用でロータリーライフを深めていっていただきたい」。雑誌をつくれればいいというものではなく皆さんがそれを生かすことが大切です。
6. ロータリーの友、ガバナー月信委員会  
(中島 司人ロータリーの友、地区代表委員、ガバナー月信委員)
  - (1) ロータリーの友、地区代表委員は、ガバナーより指名された地区責任者です。
  - (2) ロータリーの友、ロータリーJAPAN等の活用を依頼
  - (3) 情報収集→ロータリーの友→報告→取材に行く流れがあります。
  - (4)「ロータリーの友」では「こんな経歴のロータリアンはいませんか？」
    - ① 過去に、海外のクラブに在籍した経験のあるロータリアン(現在は日本のクラブ)
    - ② ロータリー学友(下記ロータリープログラムに参加したこのある)ロータリアン
      - ・元インターアクター,ローターアクター
      - ・ロータリー財団学友(国際親善奨学生、ロータリー平和フェロー、研究グループ交換プログラムの元参加者)
      - ・ROTEX(ロータリー青年交換プログラムの元参加者)
  - (5)「自然災害に備えて独自のシステムを持つクラブ」情報収集
  - (6) (4)(5)は 8/10までにガバナー事務所まで FAX する。

(7)「ロータリーの友」(表紙)は、7月号はRI会長夫婦が表紙となるが、8月からは全国からの写真を掲載することになっています。

(8)「ロータリーの友」の中でわがまちロータリーという記事が2013年からスタートしており日本の34地区でロータリークラブを通じて、まちの活性化・地域づくりに取り組んでいる地区を紹介しており、現在まで20地区を掲載、あと14地区残すところまできております。2730地区もまだなので、その際は、ロータリーの友編集へ記事や写真をお願いします。

(9)「ロータリーの友」 特別月間として

・4月 母子の健康月間

・9月 「基本的共育と識字率の向上月間」(米山財団の月間)にロータリーの友の月間を新設し、例会の中でロータリーの友の精読内容について話し合う場を例会で設ける等の工夫をお願いしたい。

・卓話のいずみ：各クラブの週報の報告記事を掲載する欄。全国で218クラブの報告があるが、2730地区では2クラブの報告実績がある。

・「ロータリーの友」投稿規程があり、それに即して記事や写真を送付することとなります。

・「ロータリーの友」の情報募集あり(8/10までにガバナー事務所提出)

※「こんな経歴のロータリアンはいませんか？」

・海外クラブ在籍経験のあるロータリアン：現在は日本のクラブ在籍)

・ロータリー学友(元インターアクター・元ローターアクター・元ロータリー財団学友、元ROTEX、元米山学友、元RYLA)

※「自然災害に備えて独自のシステムを持つクラブ」

・(例)災害が起こったときに直ちに活動できるようクラブで支援金をブールしている等

(10)「ガバナー月信」

7月の最初はRI会長夫婦の写真を掲載することとなっているが、他は各クラブの社会奉仕活動の記事を掲載している。

(11)ロータリー世界と日本の冊子(10冊で500円+税+送料)

(12)会員勧誘の冊子(5冊で400円+税+送料)

(13)ロータリーの手引書

7. Eクラブのメイクアップ方法(戸高 豊文 ロータリー雑誌委員会 委員)

(1)ロータリーEクラブとは？

Eクラブとは会員がそれぞれに都合のよい時間や曜日にインターネットで例会に参加するロータリークラブです。その他の運営方法は従来のクラブと全く同じです。世界には225ものEクラブがあります。世界での最初のEクラブは2002年に設立された「Rotary eClub One」です。

## (2)2730 ジャパンカレントロータリーEクラブとは？

日本で10番目、九州で最初にできたEクラブです。現在25名の会員がいます。会員は地区内だけでなく地区外あるいは海外出張が多い会員、海外にすんでいる会員がいます。このような形態のため懇親会などの機会は少なくなりますが、ロータリークラブの奉仕活動を広域にわたり展開することができます。また、ネットを利用しての海外のEクラブとの交流も可能です。

## (3)ロータリークラブの種類 (×)は通称です。

- 1・(×) トラディショナルクラブ→トラディショナルとは伝統的などという意味です。Eクラブからみて従来型のクラブこう呼ぶことがあります。リアルクラブとも呼ぶことがあります。
- 2・(×) ハイブリッド・クラブ→Eクラブと従来型のクラブを融合させたクラブです。通常はネットでの例会で、たとえば月1回はリアルな例会を開催するというクラブです。しかし、国境を越え、時差がある世界である場合は、ハイブリッドクラブでもなかなかリアルな例会ができていないようです。
- 3・(×) サテライトクラブ→これはRIの正式名称です。「ロータリー衛星クラブ」といいます。これは、クラブ地区内に小さなクラブを設置することで、気軽にロータリークラブ活動と例会に参加できるクラブです。この衛星クラブの例会出席も可能ですので、週に複数回の例会に参加ができます。最低人員は8名で設置できます。

## (4) ジャパンカレントEクラブでのメーキャップ方法

戸高さんが、添付の資料で詳細にご説明をしていただきました..

### 8. コミュニティラジオでの広報

(吉満祐市 川内ロータリークラブ広報・雑誌・IT委員会委員長)

- (1) 川内コミュニティラジオでの広報を実施、川内FMは午前7時～午後9時まで毎日、生放送
- (2) 川内ロータリークラブ独自の企画として、ロータリー5大奉仕の青少年プログラムに焦点をあてて、川内PTA連合会と協力して、子供たちが考えているところの感想文の読み上げを収録、子供のことは親がきいてもらえるところが利点
- (3) 費用は10万円で27回分(1回:4分)の枠を購入して日曜の12:55～12:59まで、川内ロータリークラブの宣伝は、終わりにCMアナウンスをしてPRをしている。

### 9. 広報・IT委員会から

- (1)2730 地区では全クラブWEB編集マニュアルを作成、必要なところだけを編集するCMSシステムを採用、全クラブ共通WEBを製作し実用しているクラブもある。
- (2)マイロータリーサイト、ブランドリソースセンター(ガイドライン・ロゴ・資料)ロータリーボイス、FACEBOOKの活用、ツイッター、INSTAGRAMの活用で

幅を広げることができる。それぞれの特色を理解して使用してください。

(3)例会の限界

他のクラブ、他のロータリアンを知らない

(4) 例会の効果

友人が増える。自分や友人を理解できる。

- (5) 上記(3)(4)を有効するためには、メイキャップに出かける。地区の委員会に参加する地区の委員になる。ソーシャルメディアの活用により効果が生まれる。FACEBOOKで顔を広げておくことで、いつか会ってみたいなと思い、メイキャップに出かける理由にもなりますので、ご活用ください。

公共イメージ委員長 花里 隆二

以 上